

ディスコグラフィー収載

ディスコグラフィー 【2014No.4】 (HP 収載)

分類：CD

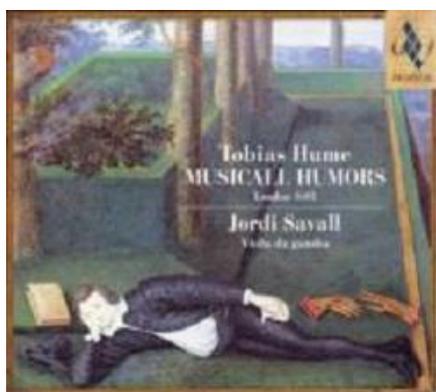
作曲家： Tobias Hume

曲名： Musical Humors

演奏： ジョルディ・サヴァール

発売： AllaVox

No. : AV9837



概要：

1982年にAstreeレーベルで出した、ヒュームの「音楽の諧謔（ユーモア）」の再録音で、使用楽器はViola da gamba (Bass-viol) Barak Norman, London 1967 とのことです。



ジョルディ・サヴァール（写真）は2013年9月に来日し、西宮芸術文化センターの公演を聴き、BS録画も残しているので、三点セット（演奏会・BS録画・CD）として重宝しています。このCDに関してはネット上の評判は上々で録音、演奏とも賛辞が述べられています。しかしながら、CDよりBS録画の再生の方がより生演奏の印象に近く、Viola da gambaのさまざまな技法や音楽の表現力の豊かさがより強く味わえます。演奏技法について言えば、Viola da gambaは通奏低音を退屈そうに弾いているだけかと思いきや、様々な技法があることを上記の演奏会で知りました。ピチカートはもちろ

んのこと、弓の背なかで弦を叩く奏法、バグパイプを真似たチューニングの奏法等、初めての経験です。

Viola da gamba の演奏では、シギスヴァルト・クイケンも 3 点セットで楽しんでいます。クイケンの演奏はやや抑制の利いた地味な演奏スタイルであるのに対し、サヴァールはより表現力の豊かな演奏を多彩な奏法で楽しませてくれるものと言えます。